

# 新型コロナウイルス感染症の地域経済への影響の見える化 V-R E S A Sの取組



令和3年2月

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

- 新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響を可視化。地方公共団体の政策立案や金融機関商工団体の中小企業支援をサポートする。
- 経済の足下の状況を把握すべく、最速、1週間おきにデータを更新。リアルタイムに近い形で、地域経済の健康状態 Vital Signs of Economyを把握できるようにする。

データ項目（前年比）	地域単位	時間単位	データ提供企業
人の流れ（人の動きの活発度）	都道府県／地点	週次	株式会社Agoop
飲食店（グルメサイトの閲覧状況）	都道府県／エリア	週次	Retty株式会社
決済データ（クレジットカード利用等での消費支出）	都道府県	半月次	株式会社ジェーシービー 株式会社ナウキャスト
POS（主にスーパーマーケットでの消費支出）	都道府県	週次	株式会社日本経済新聞社 株式会社ナウキャスト
宿泊施設（ホテル・旅館の予約の状況）	都道府県／エリア	月次／週次	観光予報プラットフォーム推進協議会
イベント（イベント開催やチケット予約の状況）	都道府県	月次	ぴあ株式会社
興味・関心（検索キーワード）	都道府県	週次	ヤフー株式会社
雇用（求人サイトの求人状況）	都道府県	週次	株式会社ゴーリスト
企業財務（会計アプリで見た企業の財務状況）	全国	月次	freee株式会社

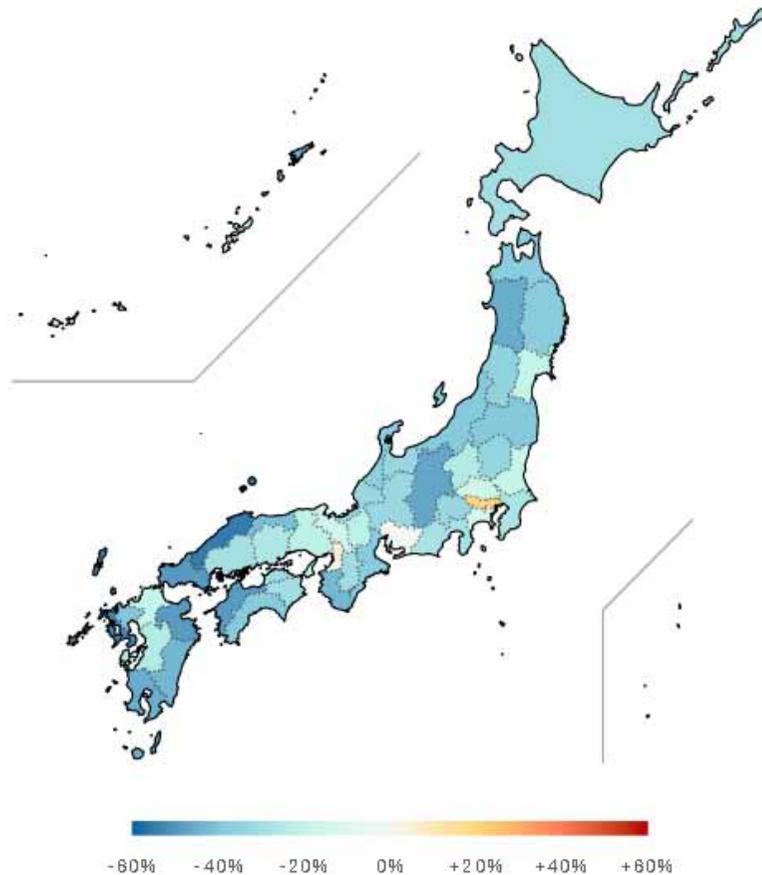


※ 掲載されるデータは、個社情報・個人情報秘匿の観点から踏まえつつ、今後さらに細分化していくことを検討。

<https://v-resas.go.jp>

- 「移動人口」では、その地域で、外出している人口がどの程度あるのかを把握できる。具体的には、居住している市区町村を推定し、この居住する市区町村から外に出た人口。
- スマートフォンの特定のアプリケーションから、ユーザの同意の上、GPSデータを取得。

2021年1月4日～10日の2019年同週比



地域ブロックごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月10日

地域ブロック:

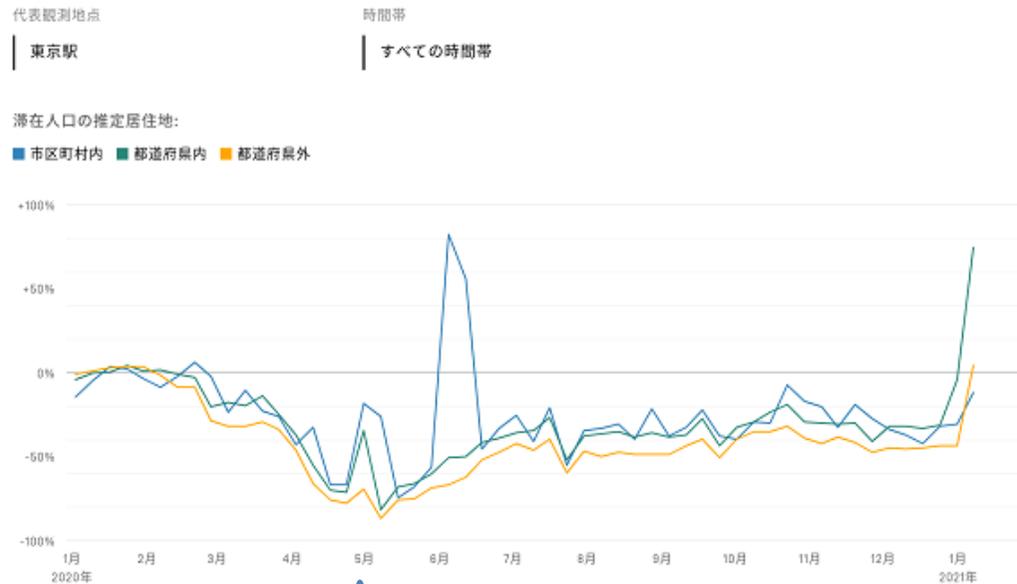
- 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国
- 四国 ■ 九州・沖縄



- 「滞在人口」では、その地域に滞在している人口を、2019年同週比で表している。
- 滞在している人が、居住地の別（市区町村内、都道府県内、都道府県外）で把握できる。

滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月10日



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

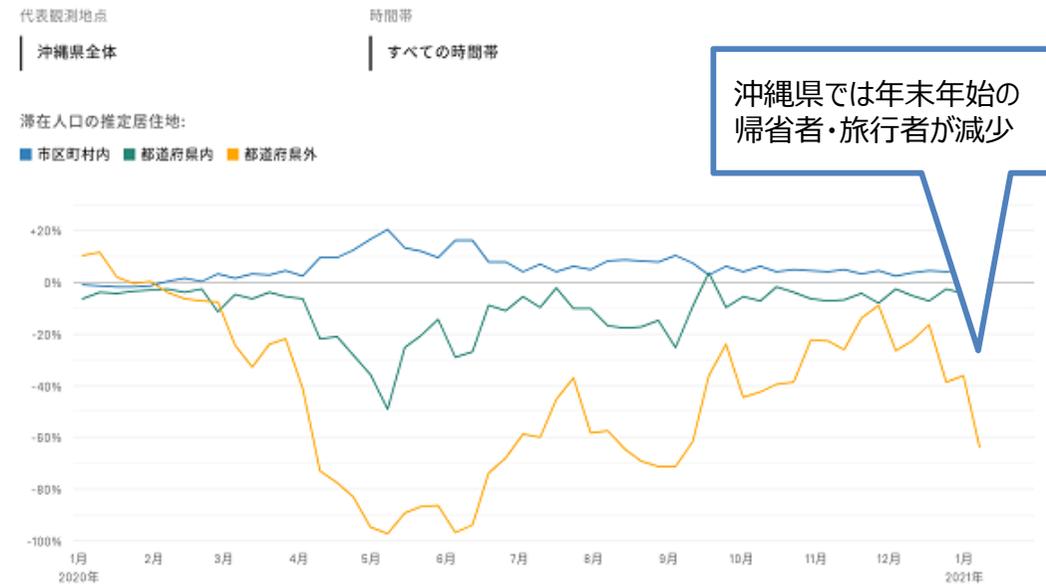
出典：株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

緊急事態宣言により、  
移動が減少

東京駅の滞在人口推移

滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月10日



沖縄県では年末年始の  
帰省者・旅行者が減少

V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

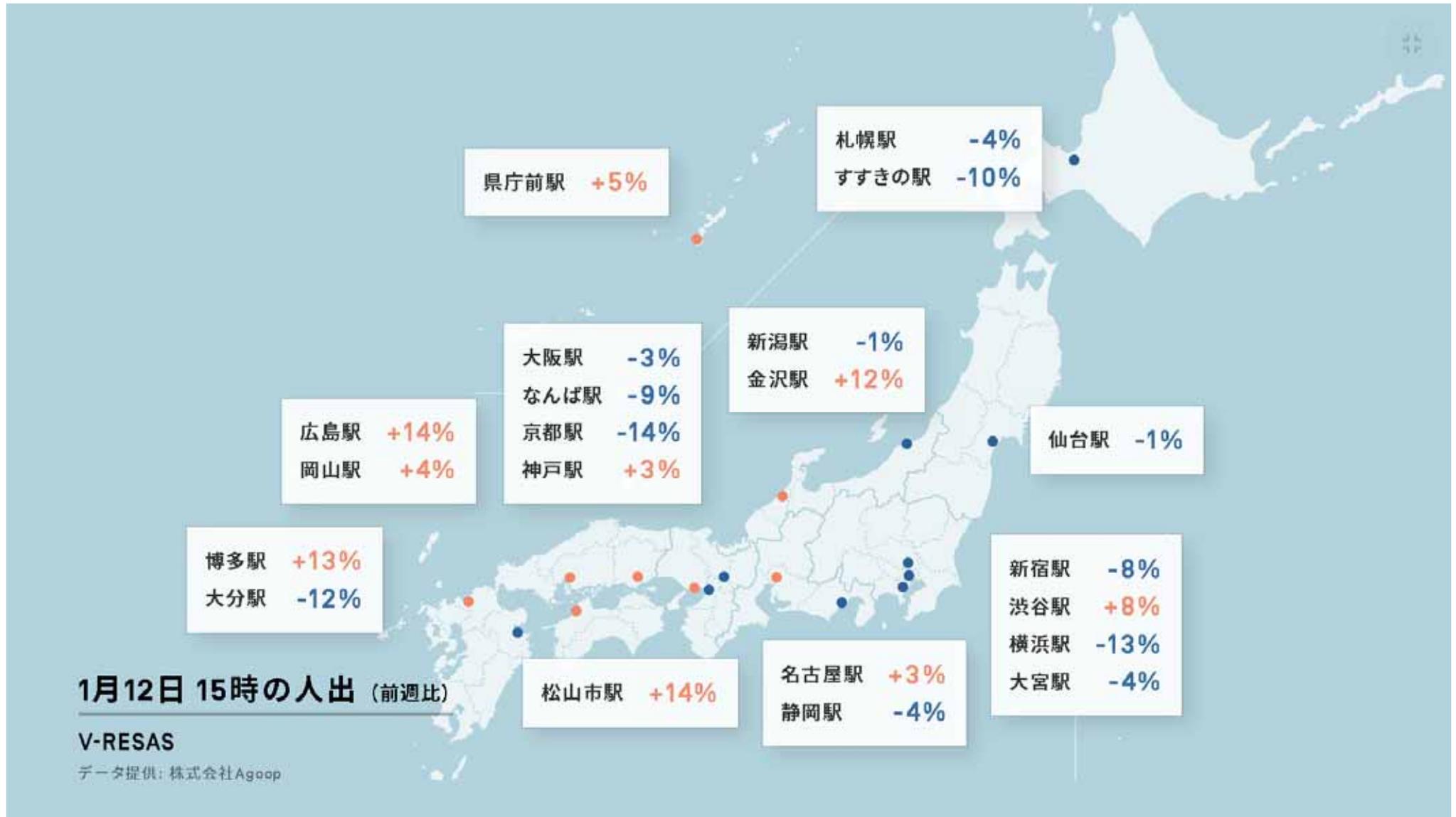
出典：株式会社Agoopの「流動人口データ」（GPSデータを元に換算処理を施した人口換算値）を元に集計

沖縄県の滞在人口推移

# V-RESAS 「きょうの人出マップ」

V-RESAS

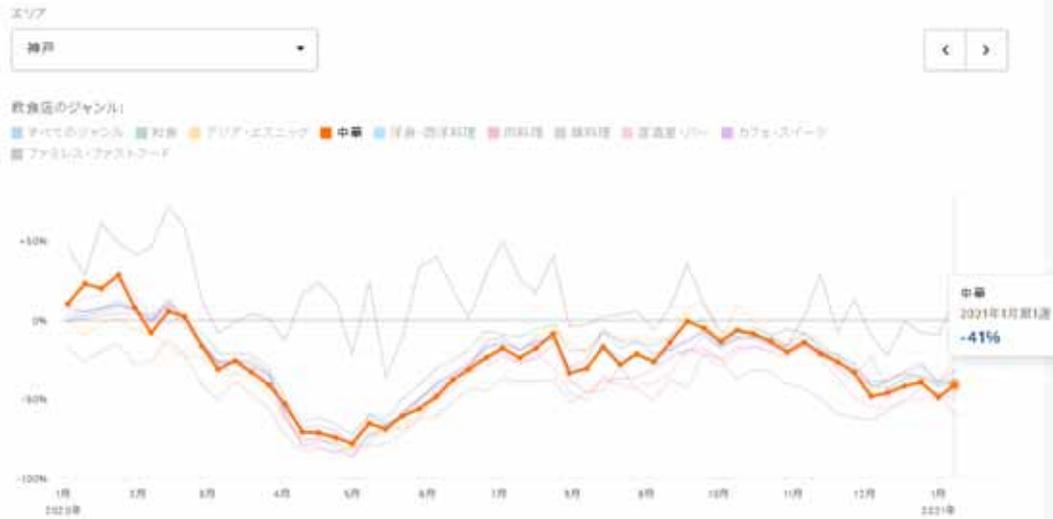
- 「きょうの人出マップ」では、当日15時までの先週比の人口を表している。
- 平日は前週平日平均比、休日は前週休日平均比。



- 飲食店情報サイトRettyの閲覧数を、2019年同週比で表している。
- 神戸・横浜ともに中華始め飲食はおしなべて不調。ファミレス・ファストフードは堅調。

ジャンルごとの2019年同週比の推移

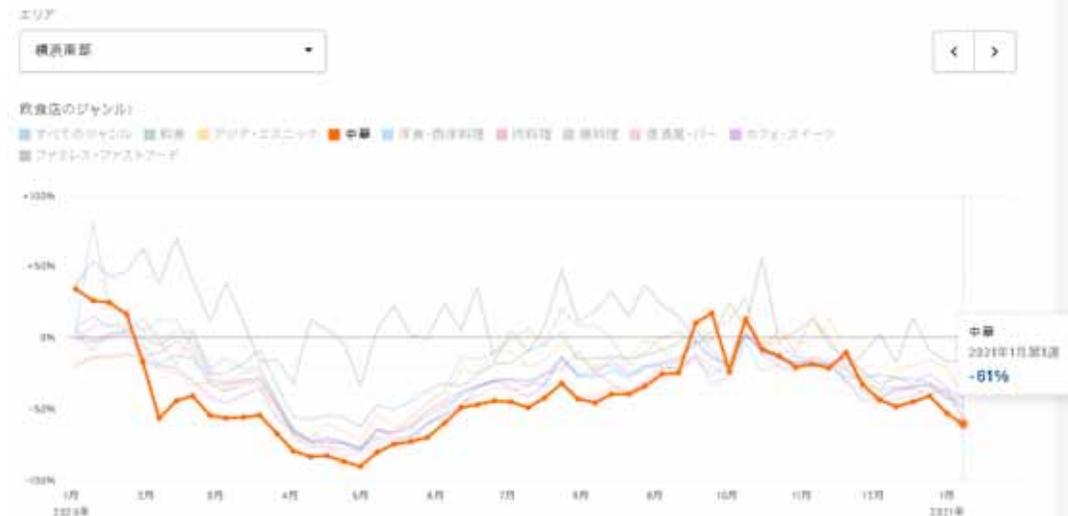
2019年12月30日～2021年1月10日



神戸市の飲食店閲覧数

ジャンルごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月10日



横浜市南部の飲食店閲覧数

○日本経済新聞社／ナウキャストデータから、全国約1200店舗のスーパーのPOSレジにより集計された品目別の売上高を2019年同期比で表している。

POSで見る売上高動向 - 地域ブロックごとの前年同週比の推移

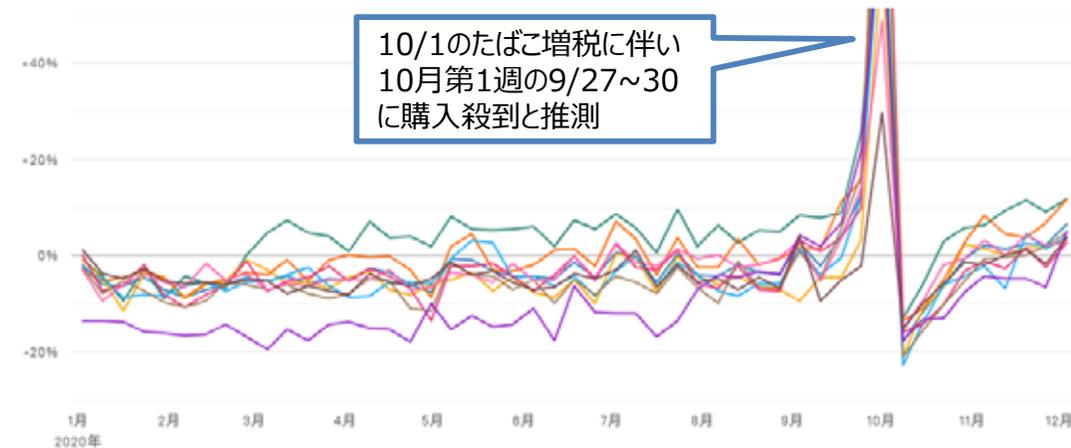
2019年12月30日～2020年12月6日

品目の種別

たばこ・喫煙関連用品

地域ブロック:

■ 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州・沖縄



全国のたばこの売上高動向

POSで見る売上高動向 - 地域ブロックごとの前年同週比の推移

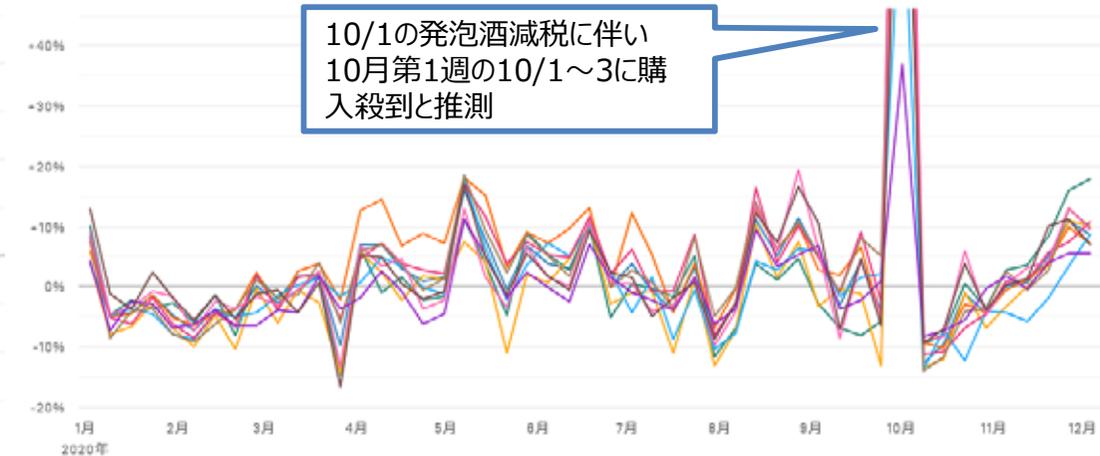
2019年12月30日～2020年12月6日

品目の種別

発泡酒

地域ブロック:

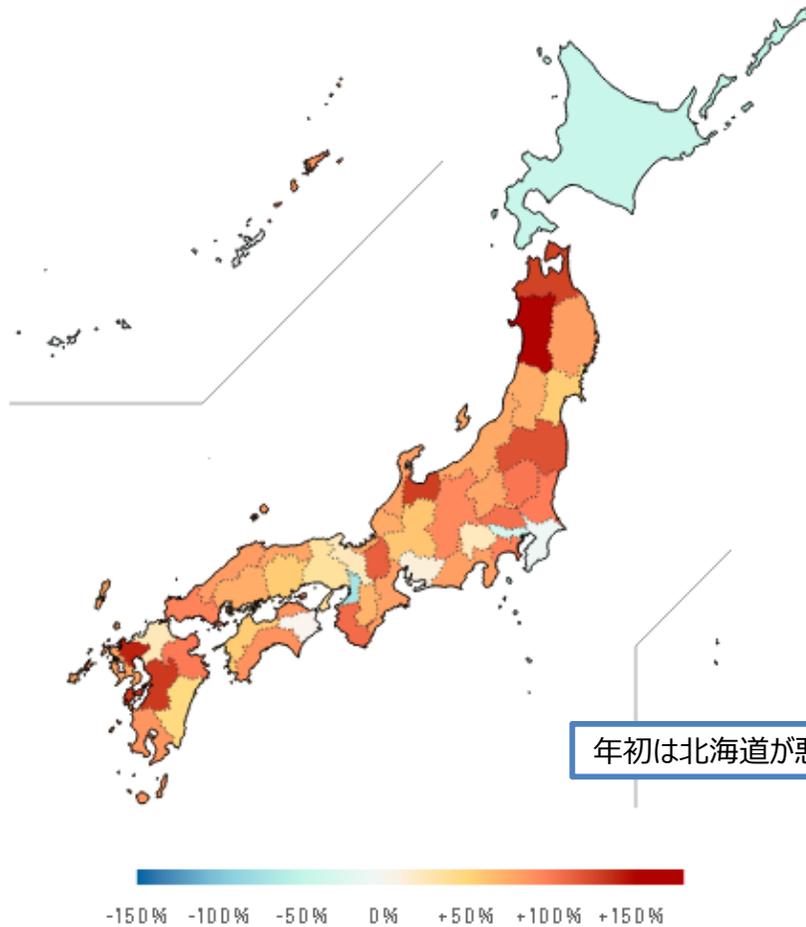
■ 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国 ■ 四国 ■ 九州・沖縄



全国の発泡酒の売上高動向

- 観光予報プラットフォームのデータをもとに、宿泊者数を2019年同期比で表している。
- 旅行会社店頭、予約サイト、外国語予約サイトなどから匿名加工されたものを収集（提供元は非公開）。

2020年12月7日～13日の2019年同週比

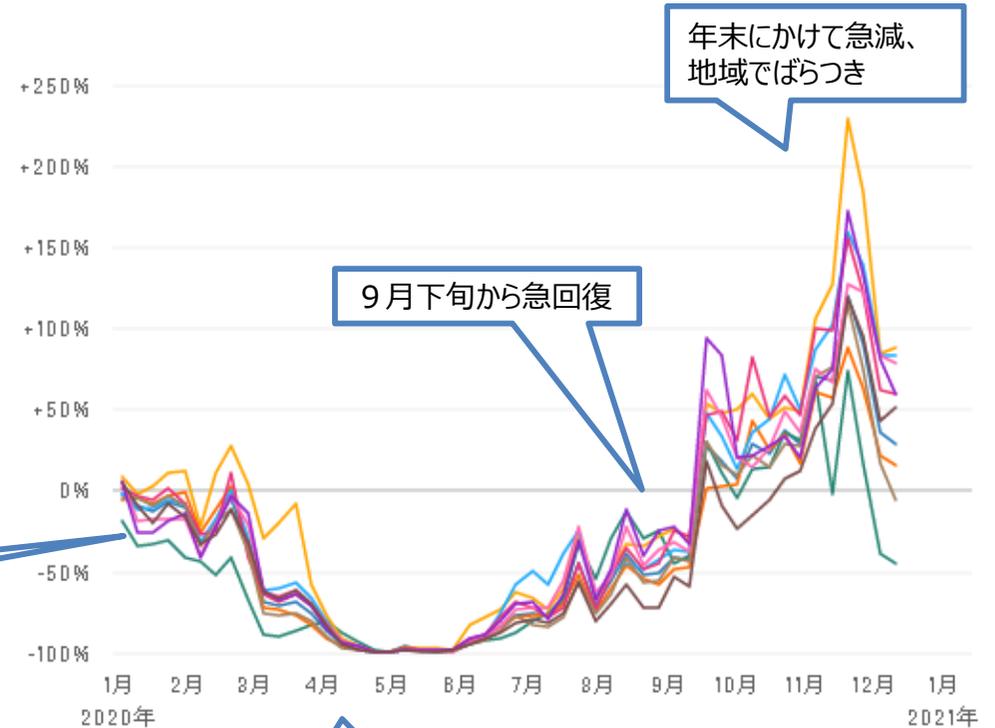


地域ブロックごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2020年12月13日

地域ブロック:

- 全国 ■ 北海道 ■ 東北 ■ 関東 ■ 北陸 ■ 東海 ■ 近畿 ■ 中国
- 四国 ■ 九州・沖縄



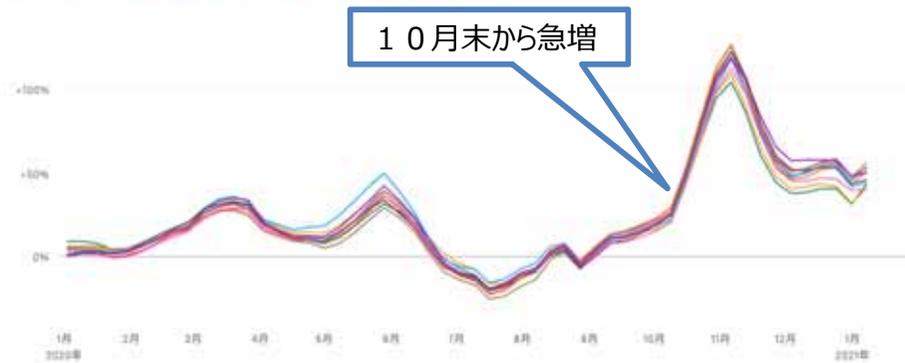
緊急事態宣言が出た  
4月末から全国で▲100%

- Yahoo!検索で検索されたキーワードの検索人数をもとに人々の興味・関心を2019年同期比で表示。
- 妊娠・育児のキーワード検索が、コロナの流行と重なって増加している。

キーワードの検索人数 - 地域ブロックごとの2019年同期比の推移  
2019年12月30日～2021年1月10日

検索カテゴリ  
マンガ・アニメ

地域ブロック:  
■全国 ■北海道 ■東北 ■関東 ■北陸 ■東海 ■近畿 ■中国 ■四国 ■九州・沖縄



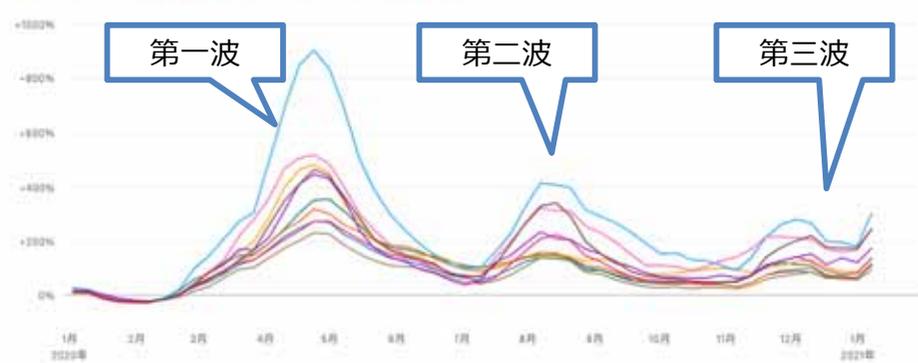
V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：ヤフー・データソリューション

キーワードの検索人数 - 地域ブロックごとの2019年同期比の推移  
2019年12月30日～2021年1月10日

検索カテゴリ  
妊娠・育児

地域ブロック:  
■全国 ■北海道 ■東北 ■関東 ■北陸 ■東海 ■近畿 ■中国 ■四国 ■九州・沖縄

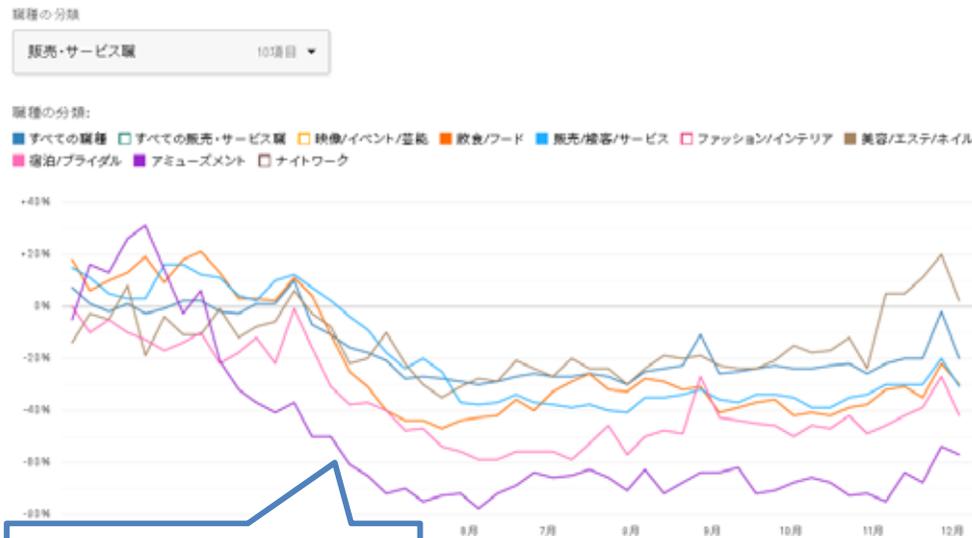


V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：ヤフー・データソリューション

- Web上の複数の求人情報サイトから収集した求人情報数を可視化。
- 各都道府県及び職種における、求人情報数を週毎に合計、職種別に2019年同週比で表している。

職種ごとの前年同週比の推移  
2019年12月30日～2020年12月6日



4～5月より、アミューズメント、宿泊/ブライダルの求人は低調

職種ごとの前年同週比の推移  
2019年12月30日～2020年12月6日



建設/土木/エネルギーの求人は比較的好調

営業・事務、製造、物流・警備の求人は低調

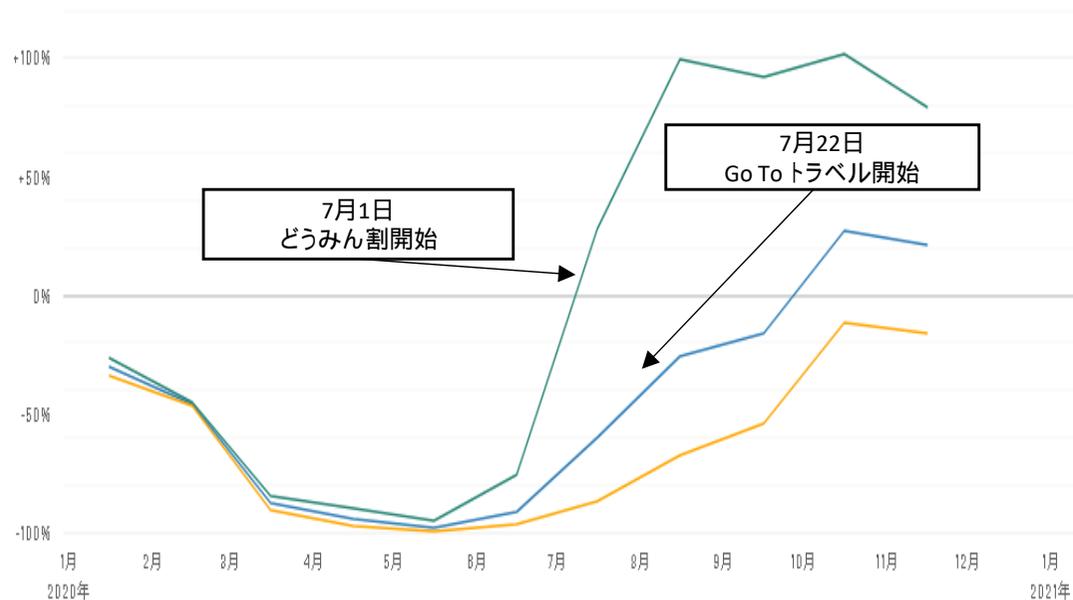
## 富山県における求人情報数の分類

- 7月以降の宿泊者が増加。
- 特に8月に「一人」が2019年比40%増、9月に「子供連れ」が2019年比66%増。

【宿泊者数】北海道全体で予約代表者の居住地ごとの2019年同月比推移

予約代表者の居住地:

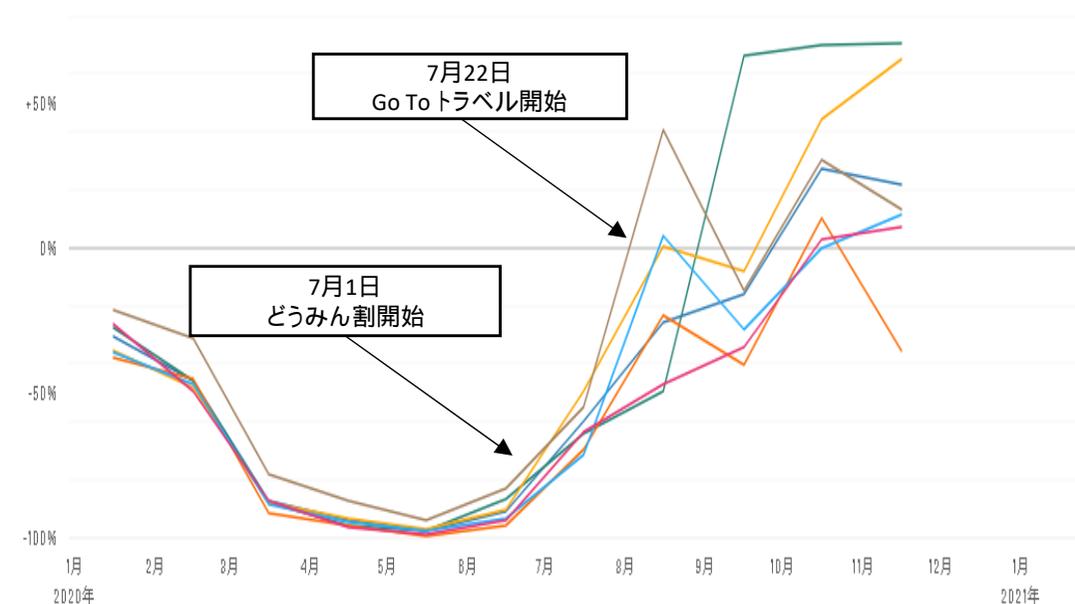
■ すべて ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



【宿泊者の分類】2019年同月比の推移

宿泊者の分類:

■ すべての宿泊者の分類 ■ 子ども連れ(子ども = 13歳未満) ■ 男女二人(カップル・夫婦) ■ 女性グループ ■ 男性グループ ■ 男女グループ(子ども含む) ■ 一人

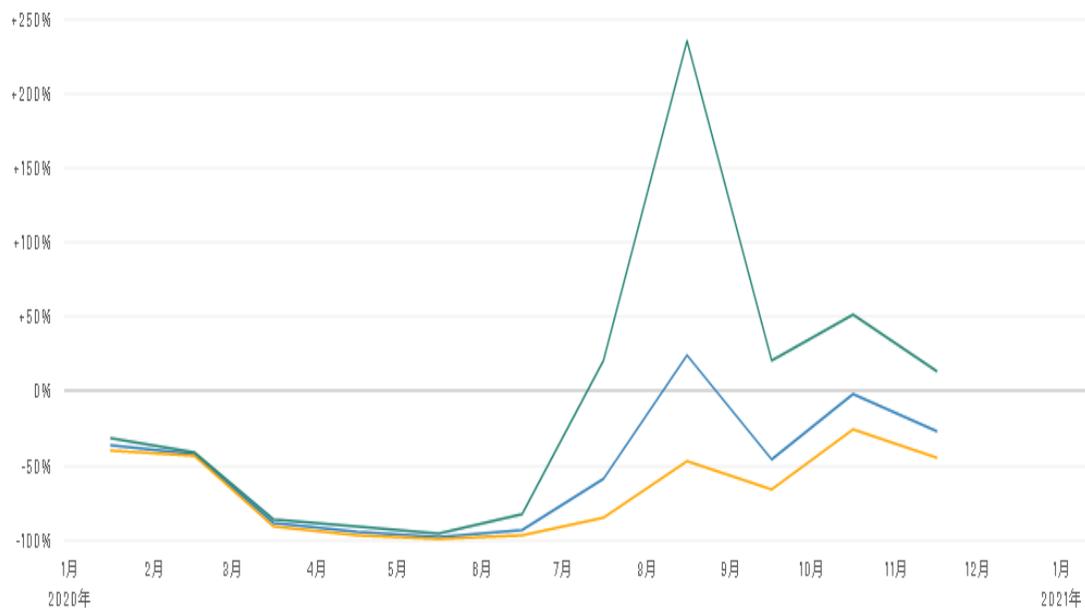


- 管内の宿泊数はおしなべて7月から9月にかけて改善。しかし札幌のみ、8月を天井に9月は急速に悪化。
- 滞在人口をみると札幌市内では「すすきの駅」が激減。特に市区町村内（≒地元民）が、すすきのへ行っていないことが見て取れ、10月第4週には▲29%。管内の他の地域では見られない現象。

【宿泊者数】札幌地域の予約代表者の居住地ごとの2019年同月比の推移

予約代表者の居住地:

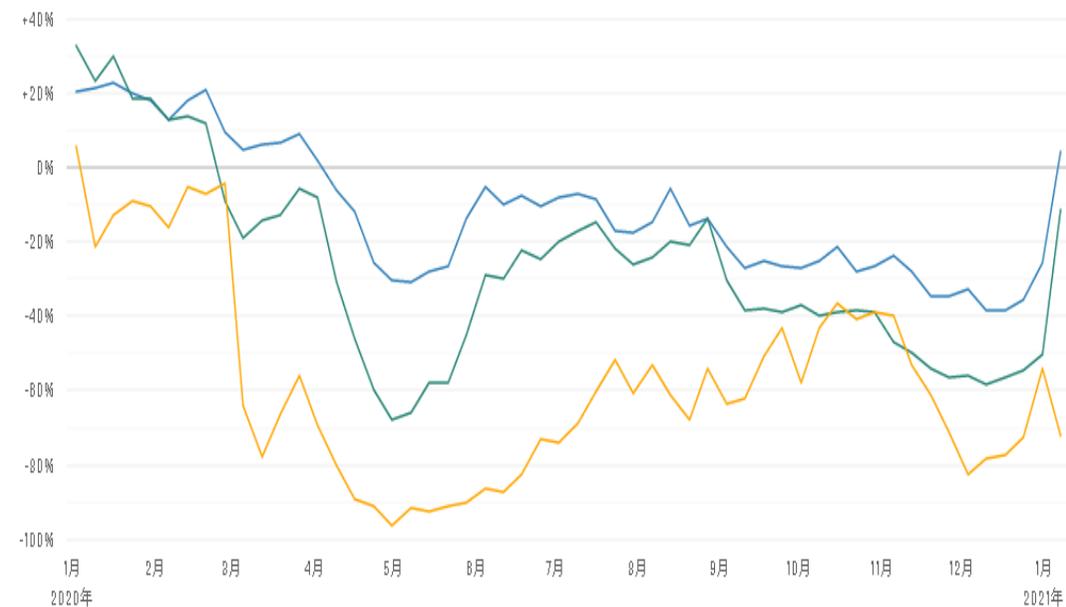
■ すべて ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



【滞在人口】すすきの駅：道内外別>

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



- 北海道のクレジットカード決済情報の宿泊および旅行について可視化。
- 緊急事態宣言時に旅行・宿泊ともに消費が減ったものの、その後は2019年レベルまで改善。

## 【クレジットカード】北海道の決済データから見る消費動向(旅行と宿泊のみ抜粋)

業種別の前年同期比の推移

2020年1月1日～11月30日

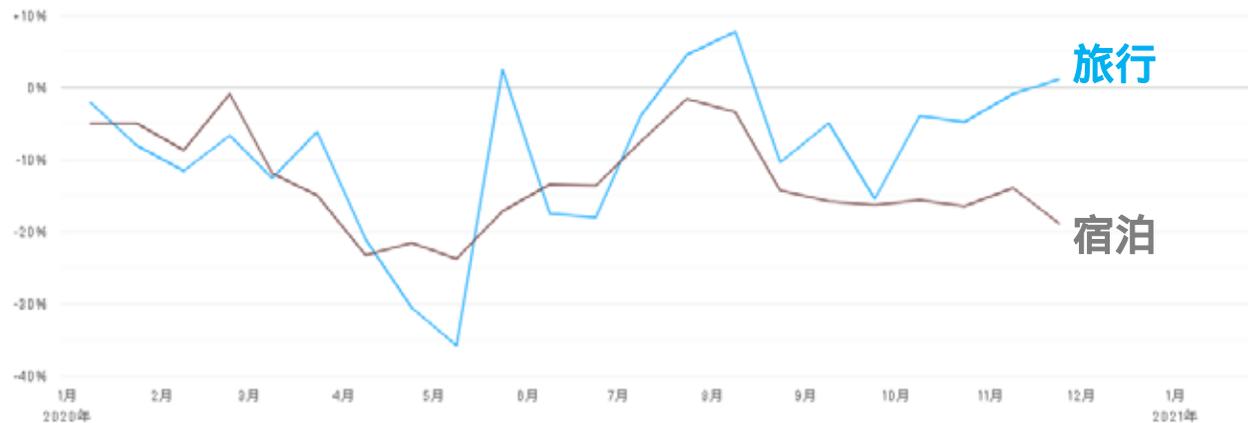
業種

サービス業

11項目

支出先の種別:

すべての業種
  すべてのサービス業
  電気・ガス・熱供給・水道業
  外食
  旅行
  医療
  通信
  交通
  娯楽
  宿泊
  コンテンツ配信



・旅行消費は5月前半は2019年比▲36%だが、8月は+8%を記録

・宿泊消費は4月～5月も2019年比から落ち込んだが、その後は改善。

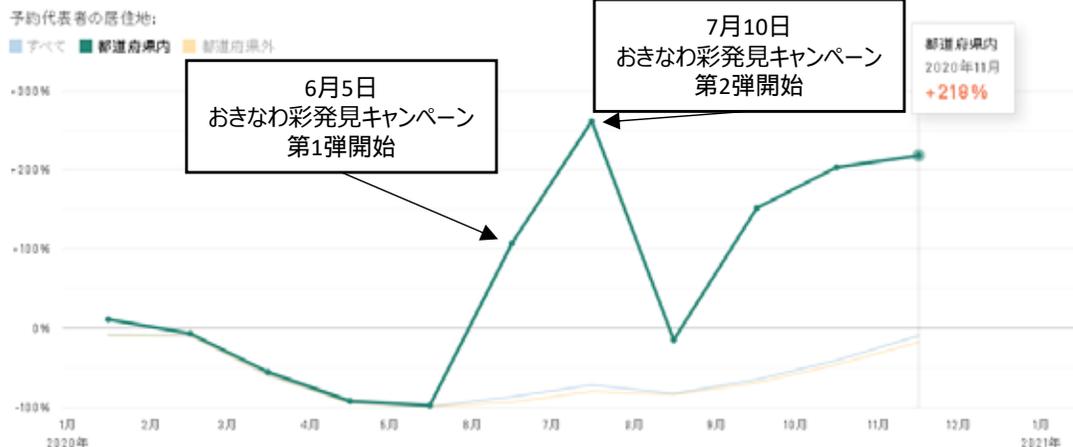
- 沖縄の人流及び宿泊状況を可視化。5月下旬の渡航自粛前から沖縄県外からの渡航者は減少傾向、6月の全面解除から回復基調にある。

【滞在人口】推定居住地ごとの2019年同週比の推移（沖縄県外推定居住者の動向）、沖縄県全体



- ・推定居住地が沖縄県外在住者の人流を表示。
- ・渡航自粛要請前後で沖縄県外からの渡航者は、既に2019年比▲100%近い水準。
- ・6月上旬の首都圏を除く自粛解除後は回復基調にあったが、8月の戻りは鈍い点が理解される。

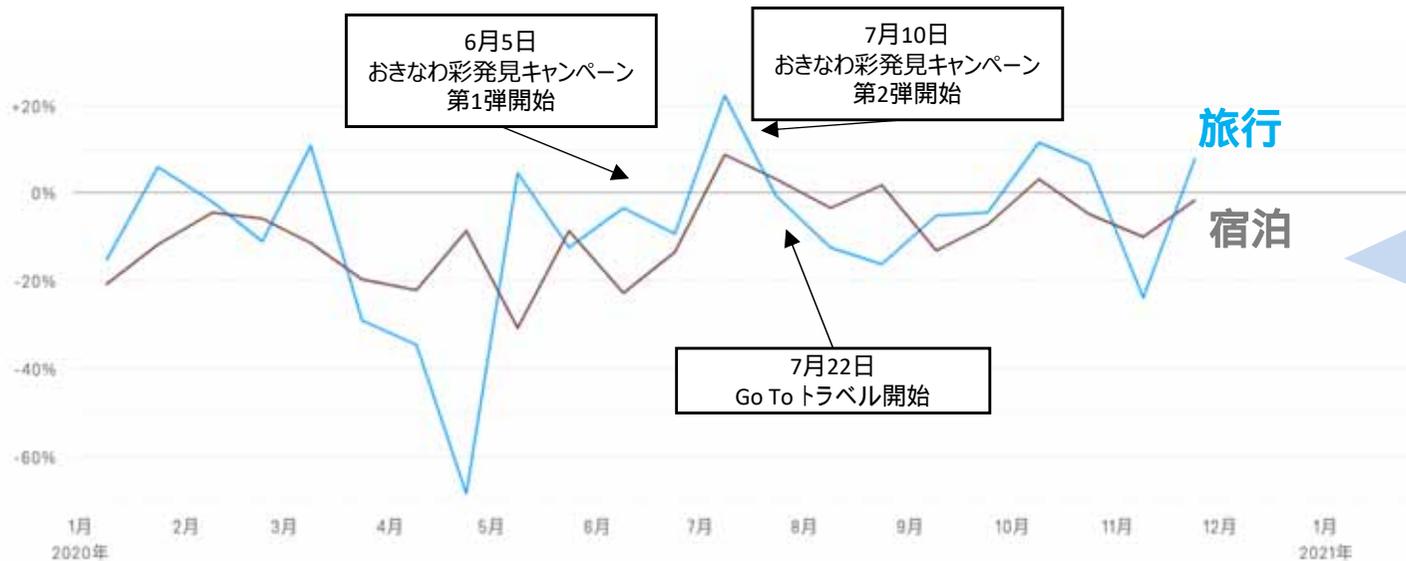
【宿泊者数】予約代表者の居住地ごとの2019年同月比の推移（沖縄県内居住者が代表者のものを表



- ・予約代表者の居住地ごとの宿泊開始日ベースの宿泊者数を月毎に合計したものを表示。
- ・5月の県内宿泊者は2019年比▲100%近い水準まで落ち込んだが、県内利用者は大幅に増加している。

- 沖縄のクレジットカード決済情報の宿泊および旅行について可視化。
- 緊急事態宣言時に旅行・宿泊ともに消費が減ったものの、その後は2019年比とあまり変わらず推移。

【クレジットカード】沖縄県の決済データから見る消費動向(旅行と宿泊のみ抜粋)



- 旅行の消費は4月下旬は2019年比▲70%だが、7月は+22%を記録
- 宿泊の消費は4月～5月も2019年比から落ち込んだが、その後は回復。

□ コロナ時代における客層の変化を踏まえ、温泉観光地における販売商品の見直しに利用。

### 宿泊者数 - 宿泊者の分類の2019年同月比の推移

2020年1月1日～11月30日

エリア  
| 県西

宿泊者の分類:

□ すべての宿泊者の分類 □ 子ども連れ（子ども = 13歳未満） ■ 男女二人（カップル・夫婦） ■ 女性グループ ■ 男性グループ ■ 男女グループ（子ども含む） ■ 一人



鬼怒川温泉のある  
栃木県西部を表示

### <温泉観光地における小売業の例>

- 温泉観光地で土産販売を営む先。
- 当該温泉地は団体観光客がメイン顧客であったが、コロナ感染拡大後は団体客が減少し、個人客や男女2人といった少人数での利用者が増加。
- 店主は肌感覚として上記傾向を把握していたが、V-RESAS上からもそれが裏付けられることを確認。団体客向けであった商品ラインナップを、個人客向けのラインナップに変更した。

### □ 人流データを売上予測等に活用。

#### 滞在人口の動向 - 推定居住地ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日～2021年1月10日

代表観測地点

大宮駅

時間帯

すべての時間帯

滞在人口の推定居住地:

■ 市区町村内 ■ 都道府県内 ■ 都道府県外



#### <駅前商店街における小売業の例>

- ・駅前商店街で小売業を営む先。
- ・今春の緊急事態宣言発令後に客足が激減。立地する駅前の人流の増減と売上の増減（≒来客数の増減）が概ね一致している傾向を把握。
- ・店主は売上予測や助成金申請の際の資料作成（エビデンスとして活用）に活用した。

アイデア  
コン2015～

WS  
2015～

研修  
2018～

副教材  
2019～

### 1. 地方創生 政策アイデアコンテスト

RESAS等を活用して地域の状況などを分析し、地域を元気にするアイデアを広く国民の皆様から募集する。審査会を開催し、地方創生担当大臣賞、優秀賞を授与。

### 2. 政策立案ワークショップ

地方公共団体が主体となり、地域の多様な関係者が集い、RESASを活用した、データに基づく施策の立案、実現を推進する。各地域の経済産業局職員がこれを支援。これまでに全国で50以上の自治体で実施。

### 3. 地方公共団体職員向け研修

データに基づき施策立案できる職員を育成するため地方公共団体において研修。2019年度は、22の都道府県等において約3,500名が受講。

### 4. 副教材（RESAS de 地域探究）

RESASを活用した授業を展開するため、高等学校向けに8種のモデル授業案（副教材）を作成、2020年3月公開。さらに「RESAS de 地域探究実践校」を募集、授業の成果を発表するイベント等を通じて、教員間及び教育現場と地域のコミュニティを形成することを目指す。

- RESASを活用して地域の状況を分析し、地域を元気にするアイデアを広く募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を2015年度から毎年開催。
- 今年度の応募総数 **過去最多1,307件**。視聴者数 **過去最多18,115人**。
- 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、初のリモート開催。全国50カ所以上の自宅・学校・職場から発表者・審査員が中継をつないで参加。
- 最終審査会を令和2年12月19日に開催し、地方創生担当大臣賞(各部門1組)、優秀賞(各部門2組)、協賛企業賞(各部門9組)を選出。

## 地方創生担当大臣賞の受賞チーム

【高校生・中学生以下の部】

タイトル：「水上のサイクルツーリズム」で名古屋の魅力をアップ！」

チーム名：名古屋市立北山中学校（分析地域：愛知県）

【大学生以上一般の部】

タイトル：空き家が繋ぐ人と未来

チーム名：古民家上手プロジェクトチーム（分析地域：島根県）

【地方公共団体の部】

タイトル：artのある街計画

チーム名：TOMOSHIBI（分析地域：鹿児島県）

URL: <https://contest.resas-portal.go.jp/2020/>



- 地方公共団体における、**データに基づく施策の立案**を促進するとともに、関係者との**コンセンサス形成のきっかけ**に活用。
- 今年度は株式会社Ridilover社による、新しいワークショップ開発事業を新潟県十日町市で開催。
- 2020年度の開催決定自治体は、現状山形県天童市のみ。

#### <概要>

##### ➤ 目的

- ・地方公共団体や地域の多様な関係者によるデータに基づく施策の立案及び実現を推進する。
- ・地方公共団体や地域の関係者がRESASによる分析を行うとともに、分析のみに留めず、具体的な施策の立案及び取組の実施につなげる。

#### <昨年度開催自治体その後>

##### ➤ 新潟県上越市

- ・全国10地域程度地域経済産業グループによる「中核企業等の成長促進に係るハンズオン支援」に選定。RESASを活用した政策立案ワークショップを開催。地域及び企業分析を実施した結果、市内の企業支援の体制拡充につながった。

##### ➤ 鳥取県米子市

- ・中国から米子空港へ直行便運航開始を見据えたインバウンド政策をテーマにワークショップを実施。
- ・その後、コロナ感染拡大等を受け方針転換、登壇頂いた有識者大村浩之氏支援の下、皆生温泉の国内観光客誘致プランを策定中。

#### <今年度>

- ##### ➤ 2021年1月下旬、山形県天童市にて初のオンライン開催。



<上越市ワークショップの様子>

- 地方公共団体における、**データに基づき施策立案できる職員の育成支援**が目的。  
新入職員を対象にデータ活用の重要性を理解していただき、将来的にEBPM を実践できる人材の育成を支援。
- 2021年度は、新人以外の職員も含めて**13の都道府県等**において実施予定。  
**引き続き、募集中。**

### <概要>

- 目的  
各都道府県の新入職員に対して、地域経済分析システム（RESAS）などのデータを活用し、地域をデータで分析するスキルの習得を目指す。
- 研修内容  
・RESAS分析手法、RESASの活用事例等について、座学形式で説明の他、グループワークも実施。
- 派遣する講師  
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局職員、経済産業局職員、RESAS専門委員（有識者等）

### 2021年度実施予定団体（13件）

- 都道府県  
北海道、岩手県、愛知県、奈良県、和歌山県、香川県、山口県、大分県、沖縄県
- 政令指定都市  
新潟市、千葉市、京都市、岡山市



- 学習指導要領の改訂（高等学校は、平成30年改訂、令和4年度施行）では、実社会で課題を解決する能力の涵養が重視されていると言える。
- 「社会に開かれた教育」では社会との共有・連携が求められ、例として「地域」が挙げられている。

## 高等学校学習指導要領の改訂の基本的な考え方

- 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、**子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力**を一層確実に育成。その際、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する**「社会に開かれた教育課程」**を重視。
- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する現行学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、**知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。**
- 高大接続改革という、**高等学校教育を含む初等中等教育改革と、大学教育改革**、そして両者をつなぐ**大学入学者選抜改革**の一体的改革の中で実施される改訂。

（資料）文部科学省「高等学校学習指導要領の改訂のポイント」

## 「社会に開かれた教育課程」のポイント

- **社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標**を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、**自らの人生を切り拓ひらいていくために求められる資質・能力**とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。
- 教育課程の実施に当たって、**地域の人的・物的資源を活用**したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

（資料）文部科学省(2016.8.26)「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」

- 文部科学省は、地域課題の解決を通じた探究的な学びのため、地域社会との協働を重視。
- 中教審のWGでは、高校の普通科を再編して「地域探究科」を作ることにも検討されている。

地域との協働による高等学校改革の推進について（通知）【抜粋】

30文科初第483号  
平成30年8月20日

## 2.各地方公共団体における積極的な取組の推進について

こうした政府における各種の決定・報告等も踏まえ、文部科学省としては、地域との協働による高等学校改革について具体的な推進方策の検討を進めており、現時点における取組のイメージや先進事例等をホームページに掲載しております。各位におかれては、これらも参考としつつ、**高等学校と市町村・産業界・高等教育機関・社会教育施設（公民館等）等とが協働し、地域課題の解決等を通じた探究的な学びを実現する取組を推進**していただきますようお願いいたします

## 新時代に対応した高等学校教育の在り方（論点整理）概要

令和2年7月17日

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ

### 4. 学科・課程の特質に応じた教育実践の充実強化

#### ◆学科の特質に応じた教育実践の充実強化

普通科改革	<p>▶ 高校生の約7割が在籍する普通科においても、一斉的・画一的な学びではなく、生徒の能力や興味・関心等を踏まえた学びを提供するという観点から、各学校の特色・魅力化の取組に応じて、「普通教育を主とする学科」として普通科のほかに、下記のような学科を設置者の判断によって設置することを可能化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SDGsの実現やSociety.5.0における現代的な諸課題への対応を図るために、学際科学的な学びに重点的に取り組む学科 …現代的な諸課題等に対応した領域横断的な教育を系統的に実施することや、高等教育機関や国際機関等との協働体制の構築を要件化</li> <li>• <b>地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、地域社会が抱える課題の解決に向けた学びに重点的に取り組む学科 …地域課題等をテーマとした探究的な学びを3年間系統的に実施することや、地元自治体・企業等とコンソーシアムを構築すること、高校と地域を繋ぐコーディネーターを配置することなどを要件化</b></li> <li>• その他普通教育として求められる教育内容であって特色・魅力ある教育を実現すると認められる学科</li> </ul>
専門学科改革	<p>▶ 経済団体等の産業界を核とし、地域の産官学が一体となって将来の地域産業界の在り方や高校段階での人材育成の在り方を検討するとともに、それらに基づく教育課程の開発・実践を推進。</p> <p>▶ 最先端の職業教育を行うためには、施設・設備の充実が不可欠であり、設置者による計画的な整備や国・地方公共団体における財政的措置の充実が重要であるとともに、地元企業等の施設の活用等の様々な工夫による最先端の施設・設備に触れる機会の創出も有効。</p>

# (参考) 社会・地理歴史でのRESAS活用



○ 中学校の社会や高等学校の地理歴史の新学習指導要領においては、(e-Statや地理院地図より前に!) RESASが明確に盛り込まれている。

## 高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 解説 地理歴史編【抜粋】

イにおける**地域に関する情報の収集や処理などの地理的技能**については、高度情報通信ネットワーク社会が急速に進展していく中で各学校にもインターネットなどの整備が充実してきている。特にインターネットは各地の地理情報の収集に有効であり、また、コンピュータはGISなどから得られる地理情報を地図化したり、グラフ化したりするなどの処理に不可欠のものである。高等学校では多種多様な情報を収集、選択し、活用することが見込まれることから、インターネット上に公開されている公的機関をはじめとする情報提供サイトを、中学校以上に適宜適切に利用する必要がある。例えば、インターネットにおける地図サイトや統計サイトとしては、現在、**内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局及び経済産業省の「地域経済分析システム (RESAS)」**、総務省統計局の「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」、国土交通省国土地理院の「地理院地図」などの公的機関が提供しているものに加え、様々な機関や団体が提供する地図ソフトなどから地理情報を入手、活用することが可能であり、今後とも入手先の拡大により情報の充実が期待される。したがって、**地理学習においても地理的認識を深めたり地理的技能を高めたりするとともに、情報や情報手段を適切に活用できる技能を培う観点から、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用を積極的に工夫することが望まれる。**GISの作業では、生徒の発達段階や学校の施設環境等を踏まえると、国土地理院刊行の地形図などの紙地図を用いた手作業でその基礎を学ぶことも効果的である。

※「中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 社会編」にも、類似の記述がある。

○ すでに、RESASは教育現場で活用され始めている。

松本県ヶ丘高校の授業の様子



- 長野県の県立高校では、「総合的な学習の時間」で、同県の歴史・文化・産業等を学ぶ「信州学」を实践。
- 先行事例となった松本県ヶ丘高等学校では、「信州学」の一環としてRESASを活用。
- 1年生全8クラス320名で実施。校内発表会、コンテストへの応募、県議会議員と生徒の懇談会も実施。

RESASワークショップ（教員向け勉強会）の様子



- 岡山県では、商業高校を中心に、教員間のRESAS勉強会が開催されている。
- 「観光」「SDGs」などのテーマとRESASによるデータ分析を絡めて、事例を紹介している。
- 行政、民間企業、地域団体からも参加あり。
- 2020年度、年5回。オンラインでも配信。

コロナ休校中の自主学习



- RESAS活用教育推進協議会が主催。
- 生徒だけで学べるRESAS副教材（後述）に沿って、サポート動画を見、大学生からアドバイスを受けつつ、企画書を作成。
- 地域応援アイデアコネクトEXPO2020で、選考委員に選ばれた作品をWebサイトに掲載し、企業や自治体にアプローチする。

- 2020年3月、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開するため、高校等向けに8種の授業モデル（RESAS副教材）を、「RESAS for Teachers」で公開。
- RESAS副教材の周知と教員間のコミュニティ形成により、自律的な地域人材の育成の発展を目指す、「RESAS de 地域探究」を実施していきます。

## ○ RESAS副教材 概要

### ➤ 目的

「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（歴史地理編）」にRESASが盛り込まれたことを背景に、教育現場でRESASを活用した授業を円滑に展開し、データを通じた探究学習の普及及び地域人材の育成の強化を目指す。

### ➤ 教科／科目

「地理総合」、「商業（観光ビジネス）」、「国語」、「情報」、「総合的な探究の時間」

### ➤ モデル授業案概要

- 学習指導案  
指導計画、本時の学習など（学習活動・内容、指導上の留意点、教材・資料について記載）
- 授業用スライド、ワークシート
- 実践事例

RESAS for Teachers <https://teacher.resas-portal.go.jp/>

RESAS de 地域探究 <https://tanq.resas-portal.go.jp/>

## RESAS 副教材 検討委員

学校法人札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校	高石大道
学校法人品川女子学院	河合豊明
長野県松本県ヶ丘高等学校	中谷幸裕
金沢大学附属高等学校	岡かなえ
学校法人聖心学園 聖心学園中等教育学校	吉澤陽
岡山県立倉敷商業高等学校	川崎好美
徳島県立脇町高等学校	大久保邦博
学校法人川島学園 れいめい中学校・高等学校	上門大介



授業モデルを作成した先生たちに聞く  
RESASの魅力とは？



# 8つの授業モデル



総学 = 総合的な学習の時間  
総探 = 総合的な探究の時間

- **地方のチェンジ・メイカー育成プログラム**【中学校 総学】【高等学校 総探】  
基礎的な探究学習の教材です。身近な地域から課題を設定し、解決することを目的としたプログラムです。「地方創生☆政策アイデアコンテスト」に対応しています。
- **データを根拠に意見を主張してみよう**【高等学校 情報 I 社会と情報】  
データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解します。技能を身に付け、結果の表現を含めてこれらの方法を適切に選択し、実行し評価し改善することが身につきます。
- **収集したRESASなどの複数の情報を根拠に、自分の意見をまとめて論述しよう**【高等学校 国語 現代の国語】  
身近な市町村を題材にし、情報を的確に読み取る能力、自分の意見に説得力を持たせるための情報を選ぶ能力を習得します。
- **「生活圏の調査と地域の展望」でのRESAS活用**【高等学校 地理総合】  
人口や産業に関して類似している自治体について、福祉・医療・観光・産業のうち、いずれかについてのデータを見つめ、地域における課題を探り、解決策を提案しよう。
- **訪日外国人の動向理解～「観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴」でのRESAS活用～**【高等学校 商業 観光ビジネス】  
訪日外国人の滞在先・移動相関・消費動向などを理解し、地域における効果的なマーケティングを考察します。
- **「地方から世界へ」を考える**【高等学校 総探】  
問いの規模と深さを事前に理解し、ビジネスフレーム活用して地域理解・政策立案を行います。デザイン思考・起業家精神の向上をはかり、論理的思考力、データ分析能力を高めます。
- **理系のための探究プログラム～雇用/医療・福祉マップ 医療受給データの比較から課題設定の基礎を学ぼう～**【高等学校 総探】  
2つのデータを比較から、さらなる情報の収集・整理・分析を行うことで、課題の設定の方法の基礎を学びます。
- **地域の課題を発見し解決に取り組む探究学習「〇〇（市）活性化プロジェクト」**【中学校 総学】【高等学校 総探】  
身近な地域に新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養います。課題発見、情報収集、整理、考察、分析、検証を通して論理的思考を身につけます。

# 学習指導案の例



【学習指導案（略案）】内閣府まち・ひと・しごと創生本部ビッグデータチーム RESAS副教材作成委員会  
 高等学校 総合的な探究の時間『地方のチェンジ・メイカー育成プログラム』

## 1. 実施学年、教科など

単元 地方創生をテーマとした中学校での総合的な学習の時間、高等学校での総合的な探究の時間

## 2. 単元の目標

- ・課題発見、考察、分析、検証を通して論理的思考を身に付けたり、グループでの活動を通してチームワークやコミュニケーション力も身に付ける。
- ・教科の枠を超えて、生徒が社会に出てから必要とされる力や経験を養っていく。
- ・地方創生を「自分事」として考えて課題解決していく姿勢を養う。

## 3. 本単元で活用するRESASのマップ

人口マップ → 人口増減、人口の自然増減、人口の社会増減、将来人口推計、人口メッシュ、将来人口メッシュ  
 産業構造マップ 観光マップ まちづくりマップ → From-to分析、潜在人口率、通勤通学人口、流動人口メッシュ  
 雇用/医療・福祉マップ → 一人当たり賃金、有効求人倍率、求人・求職者、医療需給、介護需給

## 4. 指導計画（6時間）

時	学習活動・学習内容	指導上の留意点、教材・資料
1	はじめに（導入）【スライド2～8】 授業の目的、目標を理解させながらQ1～Q4をグループワークもしくは個人ワークを行い、ターゲットとする自治体を設定させる。 1. 探究テーマとする都道府県・市町村を設定しよう	グループ・個人でワークを行っていく 地方について考え、興味関心や疑問点を持つようにする。 ・都道府県・市町村を選ぶ。
2	2. 地域について調べよう【スライド9～19】 選択した市町村について①～⑥について調べさせる。 3. テーマを選び探究テーマを設定しよう	興味・関心のある都道府県、そして市町村を選択する。 (グループの場合は意見を出し合い決定する。) 調べた8つのテーマから興味・関心を持った分野を選び、論議テーマを設定する。
3	4. 地域の魅力と課題を見つけよう【スライド20～28】 決定したテーマについて、より深い情報収集を行わせる。 ①魅力を発見する ②問題点を見える ③魅力をブラッシュアップする ④問題点をブラッシュアップする ⑤問題点を深掘りしてみよう ⑥問題解決している地方自治体・企業の先行事例を探す	・テーマについて深い情報収集を行う。 ・ワークシートに沿って活動を進めていく。 ・5W1Hを意識しながら調べていく。 ・ピラミッドチャートを活用し情報を深め、焦点化を進める。 ・問題点を深掘りするため、ロジックツリーを使って、本当の問題点を追究する。
4	5. 問題点を解決するアイデアを考えよう【スライド29～31】 ①問題点を解決させるアイデアの創出とアイデアを広げる ②アイデアを整理しよう	・イメージマップを作成させ、アイデアを広げさせる。 ・ブレインストーミングを行う際は、多くのアイデアをグループで出し合う。他者の意見を受け入れることに留意すること。 ・イメージマップをもとにこれまで考えたアイデアを整理させる。
5	6. アイデアを検証しよう【スライド32～37】 ①アイデアを実現させるための方法（手段）が現実的に可能か調べ 以下の点について検証する。 ・具体的方法（手段） ・実現するための資金・場所・運営方法 ・実現するための壁（障害）問題点はないか？	・座標軸を活用し、アイデアを確認する。 ・ピラミッドチャートを活用し実現方法を深めていく ・ワークシートに箇条書きで挙げる

	②アイデアの証拠（根拠）を見つける ③アイデアを整理する	・RESASなどのデータを活用し証明する。また、ターゲットに対して必要があるかどうか検証する。 ・データ（グラフ・表）については、ワークシートにコピーをして張り付けるか、記載しておく。 ・ワークシートにまとめる ・アイデアによる効果（直接的・間接的・相乗的）も仮説を立てて検証する。
6	7. 企画書にまとめよう【スライド38～51】 企画の流れを整理し、企画書にまとめよう。	・企画を整理し、企画書の展開を理解し作成していく。
7	8. プレゼンテーション発表会【スライド52～55】 プレゼンテーションに向けた準備 ①プレゼンテーションとはどういうものか？ ②プレゼンテーションの目的 ③プレゼンテーションを学ぶことの目的 ④良いプレゼンテーションができるポイントは何？	・プレゼンテーション発表会に向けて、その目的と効果を選び、スライド資料の作成とプレゼンテーションの練習を行う。また、プレゼンテーションに必要な要素を見つけ、発表に反映させていく。
8	8. プレゼンテーション発表会【56～58】 ⑤プレゼンテーション発表会の実施 ⑥プレゼンテーション発表会の振り返り ・生徒への発表だけに留まらず、生徒のアイデアの内容を踏まえて、関係する自治体の担当者や企業、有識者を招いて行う	・考えたアイデアについてプレゼンテーションを行う。実施後は、自己・他己評価を行う。 発表会後はこれに留まらず、自分たちの提案を実現する方法を考え、実現に向けた取り組みを継続させる。 ⑦授業全体の振り返りは自主課題とする。

## 5. 本時の学習（2/6時間）

	学習活動・学習内容	指導上の留意点、教材・資料
導入	前回の授業の振り返り 1分間、グループでターゲットとする自治体をどんな魅力ある地域にしたいか出し合う。	前回のワークシートを確認しながら思ったことを何でも出し合いイメージを共有する。
展開	地域について調べよう【スライド9】 選択した市町村について①～⑥について調べさせる。 ○調べる方法を知る。【スライド10】 自治体（選択した市町村）の情報を調べる方法を学ぶ。ここでは、まずデータを見つける方法としてRESASを紹介する。 RESAS以外の情報収集の方法も紹介する。 ・地図帳 ・地方自治体のHPなどインターネットを活用する ・アンケート ・インタビュー ・新聞・雑誌 ・文献 ○①～⑥の項目について各グループで役割分担をして、協力しながら調べていく。【スライド11～18】	・グループ内で協力し、役割分担をして調べていく。（使用できるPCの数に応じて役割を与えるように促す。） ・RESASの使い方については教師が教えずともよい。①～⑥までをまとめるワークシート内にある赤字に沿ってRESASを操作していけばデータを探ることができることを伝える程度でよい。（赤字の項目を選択すればデータが見つかる）なるべく教師が教えるではなく生徒が主体的に学ぶという姿勢をサポートする。 ・①～⑥の各ワークシートにあるヒントを参考にするとRESASのどこに情報があるかわかることを紹介しながらグループで進めさせる。

この授業は  
魅力ある地方の都市（町）へ変えることが  
できる  
地方創生プロデューサーになるための  
時間です。

## 6. アイデアの検証をしよう

③ アイデアを整理しよう 検証を踏まえてアイデアを整理してみよう。

【ターゲットの設定】誰のための企画にするか？

【魅力】

【問題点】



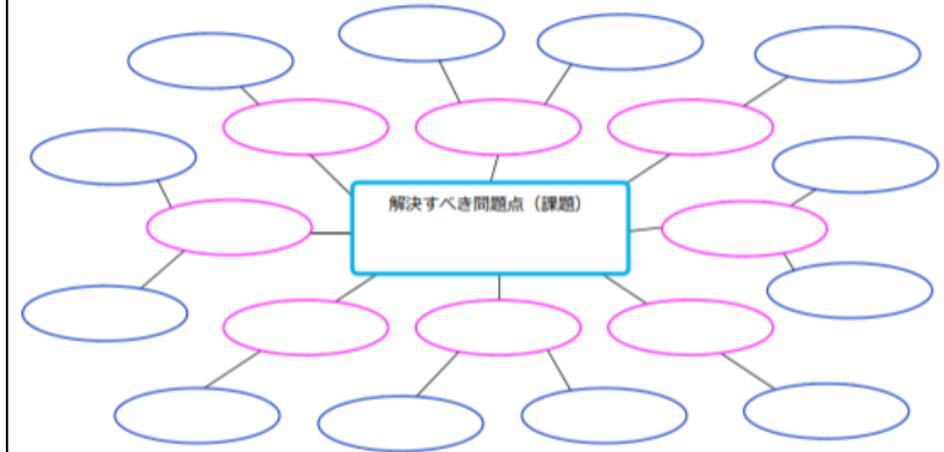
具体的なアイデア（施策）

実現するための手段（方法）

## 5. 問題点を解決するアイデアを考えよう

① 問題点を解決させるアイデアの創出とアイデアを広げる

～イメージマップの作成～ 作成後、重要なアイデアを抽出する



プレゼンテーションスライド構成例

アイデアによる地域の効果

### このアイデアで



このような効果があります。

※言葉だけでなくデータも

- RESAS副教材の認知の拡大、実践校の指定による幅広い実践事例の創出、先生方のご意見を取り入れた副教材の改善を目的に、3段階の普及イベント「RESAS de 地域探究」を開催中。
- さらに、2021年度以降、教員間でRESAS及びRESAS副教材を知っていただき、RESASを活用する教員等の間でコミュニティが形成されることを目指す。

### 【RESAS de 地域探究実践校】

- 小学校～高等学校や民間の教育機関から、RESAS副教材を実際の授業で活用する学校を募集し、50校の申込みあり。

### 【第1弾 RESAS de 地域探究フォーラム】

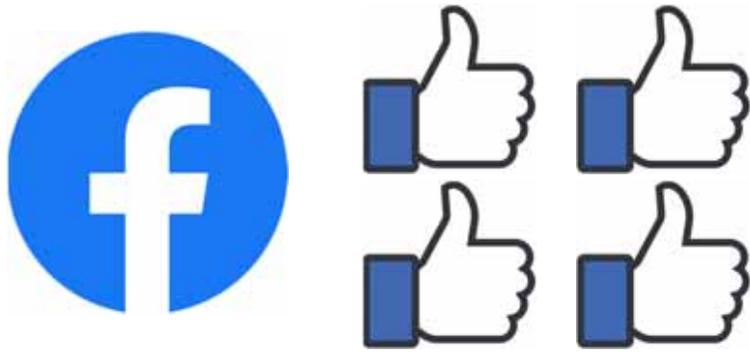
- 2020年7～8月に開催済。当日の様子は動画掲載済。
- RESAS副教材の認知拡大や実践校募集が目的。
- 有識者の基調講演や、RESAS副教材作成に携われた先生方からの説明を行い、副教材の内容や実践校の募集を周知。

### 【第2弾 探Q！RESAS（成果発表会）】

- 2020年11月頃に10回程度オンラインで開催済み。
- RESAS副教材を使った授業のノウハウ共有や、新型コロナで活動の場を失った生徒への対外発表の機会の提供、地域コミュニティの創出が目的。
- RESAS副教材を使った授業の実践事例について、**教員や生徒から発表**する。また、地域の商工団体や企業にも参加を呼び掛ける。

### 【第3弾 RESAS de 地域探究シンポジウム】2021年2月21日(日)

- 文科省総括官 合田氏、ライフイズテック讃井氏、広島県教育長 平川氏、大正大学教授 浦崎氏の講演。
- <https://tanq.resas-portal.go.jp/sympo/app/index.html>



<https://www.facebook.com/cascaobdt/>  
「内閣府ビッグデータチーム」で検索！



<https://www.youtube.com/channel/UCkwDhyiJ6DifwKeG8C6bkew>  
URLは長いので、「RESASチャンネル」で検索！

「いいね」と「チャンネル登録」をお願いします！